

杉本五郎 （たけもとごろう） 陸軍軍人。明治二十二年五月二十五日廣島縣生れ、  
 昭和十一年九月十四日歿（一九〇一三七）。大正十年陸軍士官學校卒。昭  
 和十一年少佐公陞り、歩兵第十一聯隊大隊長として出動、山西省北部  
 で戦死した。葉隠武士道に心酔した精神主義者で、その遺著はベスト  
 セラーと呼ばれた。

著書『大義』（昭和十一年五月十五日平凡社。附録・山崎益洲「杉本  
 五郎を語る」）、『軍神杉本中佐』（藤井伊勢治編、昭和十一年九月  
 十日廣島・杉本五郎中佐顕彰録刊行會）、『大義』（昭和四十一年一  
 月一日大義會。再刊・九月十四日杉田幸二編刊）等。

文獻、大山澄夫著『杉本五郎中佐の尊皇と禪』（昭和十五年五月二十  
 五日春陽堂書店）等。

